

シーニックバイウエイルートの提案について

1. 概 要

シーニックバイウェイ北海道推進協議会では、これまでにシーニックバイウエイルートとして11ルートを指定、候補ルートとして3ルートを登録しています。

新たに「どうなん・追分シーニックバイウエイルート」について提案がありました。

2. 提案のあったルート

○シーニックバイウエイルート

ルート名称	どうなん・追分シーニックバイウエイルート
申請月日	平成27年11月17日
関係市町村	木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、乙部町、厚沢部町、奥尻町 (9町)
提案者	「どうなん・追分シーニックバイウエイルート」運営代表者会議
代表者	北島 孝雄 (木古内町商工会)
構成団体	<p>27団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木古内商工会 ・木古内町観光協会 ・咸臨丸とサラキ岬に夢みる会 ・木古内町駅前中央商店街組合 ・知内商工会 ・知内観光協会 ・フロンティア21 ・福島町商工会 ・福島町観光協会 ・福島千軒地域活性化実行委員会 ・かがり火コンサート実行委員会 ・松前商工会 ・松前観光協会 ・江差町歴まち商店街協同組合 ・江差商工会 ・江差観光コンベンション協会 ・江差追分会 ・追分ソーランラインサイクリング実行委員会 ・ハートランドフェリー (株) ・上ノ国町商工会 ・上ノ国町観光協会 ・厚沢部商工会 ・厚沢部町観光協会 ・乙部商工会 ・奥尻商工会 ・奥尻島観光協会 ・函館バス (株)

シーニックバイウェイ北海道 ルート指定の状況



1次指定	H 17 . 5	3ルート	●支笏洞爺ニセコルート ●大雪・富良野ルート ●東オホーツクシーニックバイウェイ
2次指定	H 18 . 4	1ルート	●宗谷シーニックバイウェイ
3次指定	H 18 . 11	2ルート	●釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ●函館・大沼・噴火湾ルート
4次指定	H 20 . 5	1ルート	●萌える天北オロロンルート
5次指定	H 21 . 5	1ルート	●十勝平野・山麓ルート
6次指定	H 22 . 5	1ルート	●トカプ子雄大空間
7次指定	H 23 . 7	2ルート	●札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート ●南十勝夢街道

- ◆第1回候補ルート登録 (平成17年5月9日)
 - 函館・大沼・噴火湾ルート
 - 釧路湿原・阿寒・摩周ルート
- ◆第2回候補ルート登録(平成18年4月18日)
 - 南十勝夢街道
 - 十勝平野・山麓ルート
- ◆第3回候補ルート登録(平成20年5月12日)
 - どうなん・追分シーニックバイウェイ
 - トカプ子雄大空間
- ◆第4回候補ルート登録 (平成21年5月13日)
 - 札幌南シーニックバイウェイ
- ◆第5回候補ルート登録(平成25年6月24日)
 - 層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ
 - 天塩川流域ミュージアムパークウェイ

候補ルート (シーニックバイウェイルート提案中)

指定ルート

候補ルート

ルート審査委員会 審査結果

どうなん・追分シーニックバイウエイルート

審査の視点 審査委員	視点1					視点2	視点3	視点4	シーニックバイウエイルート指定の推薦の可否	
	国内において優位性が認められる主な地域資源					活動団体の主 導的な推進	地域の魅力向 上への取組	景観の質の向 上 ブランド化 地域の活性化	シーニックバ イウエイル ートに推薦で きるか否か	推薦する条件、又は、推薦できない理由
	景観	自然	文化	歴史	レク					
A	○	○	○	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	特になし。
B	○	○	○	○	—	認められる	認められる	認められる	推薦できる	特になし。
C	○	○	○	○	—	認められる	認められる	認められる	推薦できる	北海道シーニックバイウエイでも後発のルートであるが、後発ならではのメリット、後発ならではのユニークな取り組みを期待したい。
D	○	—	○	○	—	認められる	認められる	認められる	推薦できる	・条件は整っており、計画はできている。あとは実現あるのみ！ ・考えながら走ってください。でないと間に合いません。
E	○	—	○	○	—	認められる	認められる	認められる	推薦できる	特になし。

※視点

- 優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性
- 活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進
- 地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取り組み
- 景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化

(案)

平成 27 年 12 月 21 日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイルートについて

○シーニックバイウェイ北海道実施要綱第 18 条第一項及び第二項の規定に基づき、次のとおりシーニックバイウェイルート指定を行う。

■指定ルート

ル ー ト 名 : どうなん・追分シーニックバイウェイルート

関係市町村 : 木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、乙部町、厚沢部町、奥尻町

提 案 者 : 「どうなん・追分シーニックバイウェイルート」運営代表者会議

なお、上記の指定を行うにあたって、別紙の通りルート審査委員会（平成 27 年 1 月 25 日開催）からの意見を付記する。

シーニックバイウェイ北海道 ルート審査委員会 意見

■シーニックバイウェイルート

「どうなん・追分シーニックバイウェイルート」に対する意見

○優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性

本ルートは、北海道にありながら本州の空気が感じられ、海岸線沿いに展開する地形や動植物といった自然景観は北海道の中でも特異性があり、中世後期から近代初期にかけての変動期における興味深い歴史的資源と文化資源に加え、伝統文化も体感できる豊かさを有している。これらは、光景・風景・情景からなる景観資源、歴史的な文化資源に、食文化の魅力が加わった複合的資源として評価できる。

今後の発展には、全国的な視点に立ちつつ、自然、文化や暮らしと関連付けた意味と意義の更なる発掘に期待する。

○活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進、地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取組、景観の質の向上ルートのブランド化・地域の活性化

ルート運営活動計画については、候補ルートとして取組まれてきた各活動の成熟が窺え、個々の特性が緩やかに束ねられた活動実績・内容として理解、評価し、計画の推進にあたっては、まちの活性化は自分達が先頭に立ちスピード感をもって推進することを肝に命じていただくこと、推進体制においては、地域・世代を超えた一体感を育む環境の創出が本ルートの要諦になりうることから、人口減少や高齢化を見据えた対応として遠隔地域や次世代を担う若人が主体的にルート運営に参画できる環境整備が望まれる。

また、昨今の地方創生、北海道総合開発計画及び観光立国推進基本計画等の国策とシーニックバイウェイ北海道の取組との関連性・連動性の認識をさらに深め、北海道新幹線開業を契機とした国内・訪日外国人の受入の戦略的な対応に、ルートが一丸となって取組まれることを期待するとともに、ルート各地域の活動内容と実績を尊重しあいつつ、ルート内の各資源、2つのゲートウェイ及び「道の駅」を有機的に活かし、マーケティングの視点、顧客セグメンテーション・ニーズ・スケジュール感を明確かつ共有した中で、魅力的かつ具体的な周遊プランの策定をルート活動として推進され、道南エリアの価値を高める取組として拡がることを期待する。

北海道新幹線というゲートウェイが強化される道南地域での活動は、これまでに経験のない課題に直面することも推察されることから、そのアドバイスやルート運営活動計画のフォローアップの観点もあわせて、ルート審査委員会の委員が現地視察や意見交換できる機会を設けていただくことを望み、ルート審査委員会の意見とします。